学校番号	3001

令和８年度　農業科（環境緑化科）

教科	農業	科目	地域資源活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	地域資源活用　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地域資源の活用や地域振興について、身近な事例を通して理解できるように指導する。また、地域と連携した活動を行う。その中で、地域資源の価値と活用を見出す。例えば、地域資源のマーケティングとブランドづくりなど、観光や商品開発への活用、地域の資源を活かし緑化を目的とした活動を行うなど。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
地域資源の活用や地域振興について、身近な事例を通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を身に付けるように育成することを目標とする。
【思考力、判断力、表現力等】
地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるように自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地域資源の課題解決を目指すために必要な知識・技術を身に付け、解決に向け合理的な計画を立案し、その知識・技術を適切に活用している。	地域資源の活用に関する課題の解決に必要な知識と技術を持ち、適切な判断、分析、発表の総合的な能力を身に付けている。	地域資源の活用について関心を持ち、その課題についての改善・向上を目指して主体的に調査、研究、検証、管理および報告をする心構えや態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	農山村社会の変化と地域振興(課題の設定)	農業は専業のみではなく、様々な職業との兼業が可能であることを記すことによって、多様な勤労のあり方について考える。 地域のコミュニティで行われてきた様々な共同の作業について触れ、地域の人々がそれぞれ責任をもって協力しあうことにより、生活が支えられていることを理解する。 課題(テーマ)を設定し、活動計画を立て、学習活動に取り組み始める。	a: 専門的な知識・技術について理解し、農業の意義や役割、地域資源の活用を理解している。 b: 地域資源の活用を計画する上での課題を発見し、改善を図るために思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 c: 地域資源の活用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 レポート等の課題内容	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容
2学期	地域資源活用の意義と役割、価値と活用	地域資源を活用するための様々な活動について取り上げ、幅広い知識を身に付けると同時に、勤労や職業に結びつけて考える。 地域ならではの資源を発見し，それらを生かす方法について学習することで，地域社会の発展に寄与する。 計画通りにできているか、達成状況や進行状況を見直し、中間報告をまとめる。	a: 専門的な知識・技術について理解し、農業の意義や役割、地域資源の活用を理解している。 b: 地域資源の活用に取り組む上での課題を発見し、改善を図るために思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身に付けている。 c: 地域資源の活用について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 レポート等の課題内容	学習状況の観察 課題の達成状況	学習状況の観察 ノートの記述内容
3学期	地域と連携した活動	様々な地域資源の活用や地域調査などの実践的な学習をする。 実習を通して地域の自然や文化，人々と触れ合い、連携して地域を活性していく。また、1年間の取り組みをまとめる。	a: 専門的な知識・技術について理解している。 b: 地域資源の活用に取り組む上での課題を解決する能力を身に付けている。 c: 地域資源の活用に関心を持ち、意欲的に学習に取り組めている。	学習状況の観察 ノートの記述内容 取り組みについてのレポート	学習状況の観察 課題の達成状況 取り組みについての発表内容	学習状況の観察 ノートの記述内容 取り組みについての発表態度等

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度